

◆ 学 位	学 位 名	文学修士 龍谷大学	
	取得方法	課程 昭和 47 年取得	
◆ 学 歴	大 学	龍谷大学文学部史学科国史学専攻 昭和 45 年卒業	
	大 学 院	龍谷大学大学院文学研究科国史学専攻修士課程 昭和 47 年終了	
◆ 学 内 職 務 (平成 22 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ▪ 		
◆ 担当授業科目 (平成 22 年度)	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 聖徳太子概説 ▪ 仏典研究 		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 仏教学演習 ▪
◆ 職務上の実績に関する事項 (資格, 免許, 特許, 等)			
▪			
◆ 専門研究分野		◆ キーワード	
仏教史学		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本古代・中世 ▪ 聖徳太子伝 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 聖徳太子信仰 ▪ 寺院史
◆ 研究概要	聖徳太子伝の研究、本草書の書誌学的研究		
◆ 所属学会	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本印度学仏教学会 ▪ 日本仏教学会 		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 日本宗教学会 ▪ 龍谷大学史学会
◆ 主要著書 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪			
▪			
▪			
▪			
▪			
◆ 主要論文 (5 件程度)			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
武田科学振興財団杏雨書屋蔵『聖徳太子伝暦』 ▪ 奥書攷(一)―本書の系譜とそれに連なる人々の事跡―	単	平成 21 年 5 月 25 日	『杏雨』第 12 号
▪ 笠置上人貞慶と聖徳太子信仰―『太鏡百鍊鈔』所収の三種の資料をめぐって―	単	平成 17 年 12 月	『印度学仏教学研究』第 54 巻第 1 号
▪ 四天王寺撰の聖徳太子伝について	単	平成 11 年 4 月 1 日	『四天王寺国際仏教大学紀要』文学部第 31 号
▪ 聖徳太子伝記類研究の軌跡と課題―『聖徳太子伝暦』以前の太子伝を中心として―	単	平成元年 10 月 1 日	『国文学解釈と鑑賞』第 54 巻 10 号

初期太子観の形態について—「法皇」「法王」 ▪ に関する田村円澄氏説の検討—	単	昭和 55 年 11 月 30 日	『仏教史研究』第 14 号
◆ その他（5 件程度）			
書名・タイトル	単/共	発行年月日	発行所, 発表雑誌等, 発表学会の名称
▪ 和漢の本草書—中世以前の写本と刊本—	単	平成 21 年 11 月 9 日	財団法人武田科学振興財団杏雨書屋
▪ 「障子伝」と「四天王寺障子伝」	単	平成 10 年 3 月 10 日	『四天王寺国際仏教大学紀要』文学部第 30 号
▪ 『解脱上人戒律興行願書』に於ける「律供」について	単	平成 2 年 3 月 20 日	『印度学仏教学研究』第 38 巻第 2 号
▪ 四天王寺草創伝承の成立過程について	単	昭和 53 年 3 月 20 日	『印度学仏教学研究』第 26 巻第 2 号
▪ 崇峻即位前紀秋七月条についての一考察	単	昭和 49 年 12 月 20 日	『聖徳太子研究』第七号